

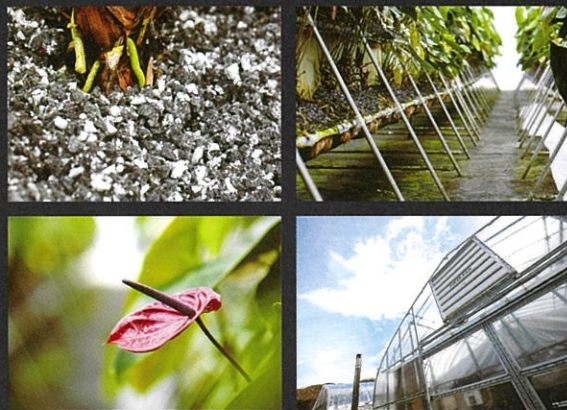
その、魅力。

気候が生み出す鮮やかな発色と驚異の品質

本来、アンズリウムは熱帯が原産で、暑さに強く寒さに弱い常緑多年草です。国内流通の95%を海外からの輸入に頼っており、国産は一部の県でわずかに生産されているのみ。それを最新の栽培技術により、東北の川俣町（福島）で安定して生産することに成功いたしました。独自の管理を施したハウス栽培により、通常のアンズリウムを超える鮮やかさと、類い稀な大きさを実現。寒暖の差を利用することで茎は太く丈夫に生育し、驚くほど経年変化に強い品種となっています。今後は増産体制を整えて、みなさまのお手元に安定的な供給ができるよう準備を進めます。「かわまたアンズリウム」を復興の花として、その魅力を発信していきたいと思ひます。

ポリエステル媒地の採用と近畿大学の継続的な支援

古着などをリサイクルして作られた、スポンジのような手触りの「ポリエステル媒地」を採用。土を使わずに液肥で作物を栽培するため、土壌汚染とは無縁で風評の影響を受けにくいという特徴があります。また肥料の調整など育成のコントロールがしやすく、出荷調整が容易で連作障害が起きにくいなどのメリットがあります。これまで川俣町と近畿大学（大阪）がポリエステル媒地を使い共同で試験栽培を行ってききましたが、大田花き（東京）による試験流通を経て市場での評価を確実なものにしています。2017年に「ポリエステル媒地活用推進組合」が発足し、本格的な事業化に向けて動き出しています。近畿大学による支援は今後も継続される見通しで、「かわまたアンズリウム」のさらなる品質向上、生産性アップに期待が持てる状況となっています。

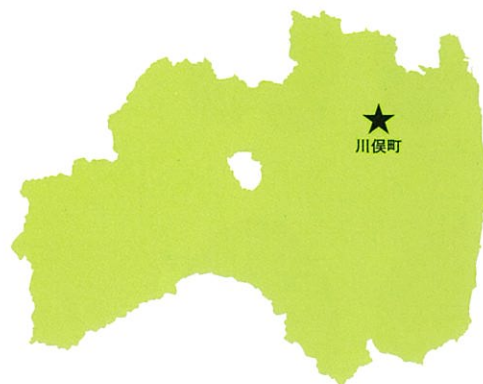


近畿大学 社会連携推進センター
田中尚道 教授 Naomichi Tanaka

近畿大学は、復興支援の一環として川俣町の産業振興に協力してまいりました。その中でも組合の皆様と一緒に試行錯誤してきたアンズリウム栽培が実を結び、この度復興庁、福島県のご支援もあって、川俣町の新たな産業として大輪の花を咲かせようとしています。この事業が益々発展し、復興の確かな証となるように、更なる支援を続けたいと思ひます。



生産者の
笑顔が
品質の証。



川俣町の人口は13,789人（平成29年10月1日現在）。阿武隈山地西斜面の丘陵地帯にあり、東は相馬郡飯舘村・双葉郡浪江町・南は二本松市、西は福島市飯野町、北は伊達市と接しています。川俣盆地を中心に絹織物の町として発展してきており、シルク製品をはじめ、川俣シャモ、にがり豆腐、凍みもちなどの食品が名産品です。鮮やかで美しい花「かわまたアンズリウム」が新たな名産品となるよう、町を挙げての支援を受けています。

川俣町ポリエステル媒地活用推進組合



1部の画像は、平成29年度被災地域企業新事業ハンズオン支援事業で作成しています。
福島県「令和元年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金の交付を受けて作成しています。

E-mail: y.hid3995@docomo.ne.jp（事務局・安田秀吉）

メイド・イン・かわまた

かわまた
アンズリウム
— Anthurium —



VOL.
2019.8

復興の花 “かわまたアンスリウム”

スタンダード



アリーナ



カリスマ



エテルノ



ファイヤー



インブルーズ



シンギタ



カリスト



トロピカルレッド



サフラン



クラリネルビウム(葉)



デナリ



エンジェル



カーニバル



プレゼンス



モーメント



リーブラ



マキシマビオレッタ



ファンタジア



キャンディ



ローザ



チアーズ



ネロ



ショータイム



ミラネロ



マラビリア



ロゼッテ



ユタ



ヌンツィア



マレシア



カセコ



シャンパン



カージナル



ミドリ



ミドリインブループ



グランドスラム



ピスタチェ



テキーラ



オリビアス



オバケ



ザフィラ



アミーゴ



スパイス



ネロおばけ

カップ



プレビア



ウィスパー



ファセット



ペルッツィ



ザビア



マレア

かわまたアンスリウムサイズ標記

仏炎苞の花径(縦直径)の
長さをサイズ標記をしています。

SS	3 ~ 5 cm	3L	13 ~ 15 cm
S	5 ~ 7 cm	4L	15 ~ 18 cm
M	7 ~ 9 cm	5L	18 ~ 22 cm
L	9 ~ 11 cm	6L	22 ~
2L	11 ~ 13 cm		

